

2019年度 C F C 教科別シラバス

教科名： 手芸 服装技術学科 40 時間/週 1 時間

授業の解説

- ・市場やコレクションを見て、トレンド及び売れ筋の雑貨商品を探り、実習物に合わせたアイテムを決定させる。
- ・アイテム製作時に、それらのトレンドや構造等も指導する。
- ・流通学科主催のイベントの際にそれに合わせたディスプレイ用品や、雑貨アイテムを製作する。
- ・アイテム完成後、カメラワーク等を通してコーディネート能力も採点する。

評価基準

出席率、授業態度、課題提出物により総合的に評価する。

使用テキスト

製作アイテムによってオリジナルプリントを配布。
トレンド分析では、ファッションニュースやWWDを使用。

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・手芸とは
- ・SS トrend雑貨分析
- ・アップリケアクセサリー
- ・コサージュ
- ・刺繍アクセサリー
- ・三角ポーチ

——後期——

- ・AW トrend雑貨分析
- ・キルティングバッグ
- ・ハロウィン刺繍
- ・クリスマス刺繍
- ・VMD（卒業制作）にあわせた雑貨アイテム・ディスプレイ用品

2019年度 C F C 教科別シラバス

教科名：被服材料 服装技術学科 20 時間/週 0.5 時間

授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

ガーメントにおける素材の差別化が重要になりつつある現在、2年間の基礎編の上に立って現場に活かせる応用編を半年間行う。

講義授業で可能な方法で、現在の学生の弱点である素材とシルエット、デザインとの関係を大きな習得課題とする。

また、トレンドと素材との関係、業界の現状と素材の手配について、内定先や内定職種との関係で理解し、卒業前や卒業後に情報収集を行い素材を含めた広い視野で判断ができる能力を身につけさせる。

評価基準

定期テスト、出席率、授業態度、により総合的に評価する。

使用テキスト

『テキスタイルハンドブック』 文化学園文化事業局

織研新聞、WWD他業界関連発行物

世界イベント (PV・MU) や世界トレンド情報会社の HP を PC で紹介

その他プリント、多数の素材サンプル、ハンガー、製品サンプルを使用

カリキュラム・スケジュールの概略

1. 2年間の復習
2. 2017 A/W の素材トレンドとデザインの関係
3. 素材産地と物づくりの関係、産地の現状
4. 海外生産の現状
5. ファッショントレンドと素材トレンドと店頭の関係 (2018 A/W ・ 2019 S/S)
6. 新素材の紹介

2019年度 C F C 教科別シラバス

教科名：服飾デザイン

服装技術学科

20 時間/週 0.5 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ファッションデザインの発想と表現方法などに関する知識と技術を習得する。

評価基準

出席率、授業態度、提出課題、試験により総合的に評価する。

使用テキスト

参考文献：FASHION DESIGN BASICS

FASHION DESIGN RESOURCE

カリキュラム・スケジュールの概略

テーマ：自然

アート

テキスタイル

民族衣装

自由

・デザイン発想試験

テーマ：自由

イメージマップ・コラージュマップ・デザイン画・ハンガーイラスト

2019年度 C F C 教科別シラバス

教科名：服装史 服装技術学科 40 時間/週 1 時間

授業の解説

人類が衣服をまとうようになった古代メソポタミアから 19 世紀末までの時代的背景とファッションとの関連について学ぶ、プロジェクターやビデオ等を使用しながら各時代のファッションを理解する。

評価基準

出席率、授業態度、定期試験により評価する。

使用テキスト

『ファッションビジネス能力検定試験 3 級ガイドブック』
財団法人日本ファッション教育振興協会
『服飾造形の基礎』 文化ファッション大系 文化服装学院編

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・ 西洋服装史を学ぶ意義
- ・ 古代メソポタミア：シュメールのカウナケス、ペルシャのチュニック、ズボンについて説明
- ・ 古代エジプト：ロインクロス、パーニュ、チュニック、カラシリスなどについて説明
- ・ 古代ギリシア：ドーリア式・イオニア式キトン、ヒマティオンなどについて説明
- ・ 古代ローマ：ストラとパルラ、トゥニカとトーガ、時代の盛衰と衣服の分量との関係について説明
- ・ ビザンティン：ダルマティカ、パルダメントウムなどについて説明
- ・ ロマネスク：シェーンズ、ブリオー、マントルなどについて説明
- ・ ゴシック：コットとシュールコ、プールポワンとショースとプーレーヌ、ウブランド
コタルディとシュールコトウベール、エナン帽とローブなどについて説明
- ・ ルネサンス：イタリアモード、スペインモード、フランスモード、イギリスモードなどについて説明
史上初めての腰枠ヴェルチュガダン登場
- ・ バロック：オランダモード、ルイ 14 世時代のフランス宮廷モードなどについて説明
- ・ ロココ：ルイ 15 世、ルイ 16 世時代のフランス宮廷モードなどについて説明
史上 2 番目の腰枠パニエ登場
- ・ 執政政府：アंकロワイヤブル・メルヴェイユーズといった風変わりなファッションをした男女の服装などについて説明
- ・ 第一帝政：ナポレオン一世の時代、ジョセフィーヌを中心に華麗な宮廷モード(ローブ・ド・クール、エンパイア・ドレスなど)について説明
- ・ 王政復古：ルイ 18 世の時代、女子服のウエストはコルセットで再び細くなる。男子服はダンディズムを確立したジョージ・ブライアン・ブリュンメルのだんディについて説明
- ・ 第二帝政：ナポレオン 3 世の皇妃ウージェニーのファッションに携わったオートクチュールの創始者シャルル・フレドリック・ウォルトについて説明
史上 3 番目の腰枠クリノリン登場
今日の背広服の原型が築かれた
- ・ 世紀末：史上 4 番目の腰枠バツスル登場 日本において鹿鳴館スタイルともいわれる子供らしい子供服が誕生

2019年度 C F C 教科別シラバス

教科名：洋裁実習 服装技術学科 480 時間/週 12 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

各アイテムに合わせ、デザイン→素材選び→パターンメイキング→カッティング→縫製のより高度な知識と技術の習得を計る。

実習物を通して、より美しいシルエットでバランスのいい美的構成力を磨かせる。

評価基準

出席率、授業態度、課題提出物の完成度、プレゼンテーションにより総合的に評価する。

使用テキスト

『スーツ・ベスト』

『スカート・パンツ』

『コート・ケープ』

『ブラウス・ワンピース』

『服飾造形応用編Ⅰ（高級素材）』

『服飾造形応用編Ⅱ（特殊素材）』

文化ファッション大系 文化服装学院編

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

・デザインジャケット

一重仕立て…デザイン、素材などに合わせてプライスを考慮しての縫製

・オリジナル作品

様々な素材に合わせたパターンから作品へ落とし込む

・ニット作品

ニット独特の持ち味を生かした縫製を習得

・MD作品

MDの授業で作成した企画書の中から1点)

——後期——

・卒業研究作品

・C F C ファッションコンテスト作品

2019 年度 C F C 教科別シラバス

教科名：洋裁理論 服装技術学科 120 時間/週 3 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

- ・特殊素材の知識と扱い方について講義する。
- ・縫製テクニックをデモンストレーションし、高度なテクニックを理解させる。
- ・理解度を測るため部分縫いを製作してもらう。

評価基準

出席率、授業態度、課題提出物、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『服飾造形応用編Ⅰ（高級素材）』 } 文化ファッション大系 文化服装学院編
『服飾造形応用編Ⅱ（特殊素材）』 }

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

プリーツスカート（ファスナー明き、プリーツ計算法）
薄物（シフォンジョーゼットとオーガンジーの縫い代始末の種類）
伸縮素材
トリミング
レース（ケミカルレースの扱い方）

——後期——

ベルベット（起毛素材の扱い方）
皮革
毛皮
リバーシブル
くせとり

2019年度 C F C 教科別シラバス

教科名：立体裁断 服装技術学科 40 時間/週 1 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

1～2年の題材を基盤とし、各種アイテム、ディテールを既製品サンプルを参考にアパレルメーカーのパタンナーとしての技術、表現方法をファーストパターンまで指導する。

評価基準

- ・デザイン画やサンプルに対しシルエット、ディテール、ゆるみを的確にとらえ表現できているか。
 - ・地の目、ピンの扱いが適正であるか。
 - ・出席日数、授業態度、定期試験
- 以上を総合的に評価する。

参考文献

- 『立体裁断 基礎編』文化ファッション大系 文化服装学院編
『パターンメイキングの原理』大野順之助著
『近藤れん子の立体裁断と基礎知識』モードエモード社

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・デザインスカート（ex. ハイウエスト切り替えのフレアースカート）
- ・ジャケット（PM2 級参考デザインより 1 型）
- ・デザインワンピース（ex. ドレープ、ウエスト切替タック）
- ・コレクションより 1 型
- ・オリジナルデザイン（ワンピース、スーツ以上）
- ・学年末単位認定試験